

ケース  
スタディ  
4

## 統合と世代交代の荒 ハッピーロード大山商店街

ハッピーロード大山（板橋区大山町）の名前は、商店街活性化を調べていると必ず出てくる。経済産業省の「がんばる商店街77選」に

てきたようと思えるが、大野厚さん（商店街振興組合・第5代目元理事長）は、「こうなるまで、いろいろと苦労はありました」と笑い

5  
んが考える  
街づくりに  
見る3要素



11の市町村と提携「とれたて村」

た、アンテナショップ「とれたて村」は、大山町古賀が主に明治より古生ヒル製造。

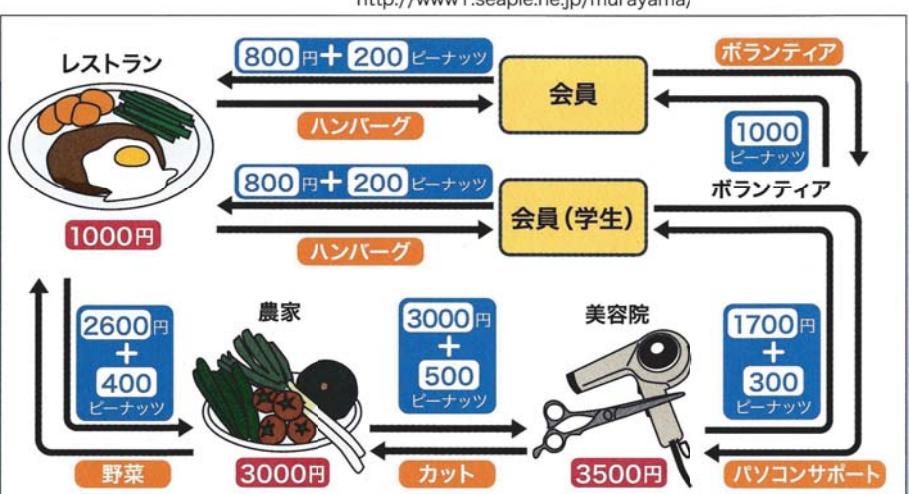
越えた

ピーナッツの取引成立に必要なのが、「アミー」「！」と言つて握手をすること。たかが握手だが、この人とのふれあいが強力なパワーになつてゐると感じた。

(右)会員に渡される  
「ピーナッツの使い方」  
(下)ピーナッツの取引  
を記録する大福帳



ピーナッツの取引の一例。地域通貨について詳しく知りたい人は、次のURLから村山さんへアクセスを。  
<http://www1.seaple.jp/murayama/>



現状維持ではなく発展を続けたいと語る代表に活性化への熱い思い

が感じられた。見て、食べて、じっくり歩くと思わぬ発見もありそ

うで、本物を味わいにまた訪れて  
みたい街だ。

3

人とのつながりで街づくり  
地域通貨の実践に取り組  
**西千葉・ゆりの木商店街**

A black and white portrait of an elderly man with glasses and a striped shirt.

村山和彦さん。ピーナッツの設計運用をしている「みんなのまち」代表

ツツを学んだ横浜戸塚のお寺が、地域通貨への取り組みを決めたという。システム構築は、ゆりの木商店街で育った千葉大出身の若手起業家が経営する「トライワープ」が担当。徐々にだが、地域通貨は

「運営のための入件費は、年間100万円程度の持ち出し」と村山さん。それでも、「地域通貨の力を知っているから、今後も続ける」と語った。

「運営のための人性  
着実に広がつてゐる。

JR西千葉駅北口にある、約30店舗の「ゆりの木商店街」。ここでの活性化は、地域通貨「ピーナツ」による部分が大きい。発起人で1999年2月の導入以来、商店街での取り組みをサポートしている村山和彦さんに話を聞いた。

村山さんは都市計画の専門家だが、「人口が減っていく過程で都市計画のあり方が変わった。需要と供給の関係で成立するマーケットが対象では、商店街は低価格のスーパーに勝てない。値段が高くても人が来るような、人とのつな

がりがないと商店街は育たない」という結論に達した。そのためシステムとしていきついたのが地域通貨。仕事をしながら1年間勉強し、退職後はさらに学びながら実践を目指した。

当初、「ピーナッツ」の導入を商店街は満場一致で否決。「よくわからないし、面倒くさそうだし、当時の私のようにネクタイをしている人の話は信じられない」というのが理由。ようやく1軒の美容院さんが取り組み、そこから少しづつ時間をかけて広がってきた。

現在はエリアも広がり、加盟店は50軒。ゆりの木商店街では30軒中20軒が参加し、県内の農家も加入。一般会員は1250人（名簿上は1500人）になった。

(右)会員に渡される  
「ピーナツの使い方」  
(下)ピーナツの取引  
を記録する太福帳

The map highlights several key locations:

- (株)沖縄タウン事務所** (Okinawa Town Office) marked with a red star.
- 商店街を彩る「ハイサイ！沖縄タウンへようこそ！」の横断幕** (横幅 banner) marked with a blue star.
- 齊藤食品 (沖縄物産専門店)** (Saito Food (Okinawa Specialty Shop)) marked with a red star.
- 休憩所 (沖縄の产品やパンフレット)** (Rest Area (Okinawa products and pamphlets)) marked with a blue star.
- とうるるてん (三線販売)** (Tuururuteen (Three-line sales)) marked with a red star.
- たきどうらん (沖縄料理店)** (Takidouran (Okinawa Restaurant)) marked with a red star.
- ちゅら館 (沖縄物産店)** (Churukan (Okinawa Specialty Shop)) marked with a red star.
- めんそ～れ大都市場** (Menso-re Otaimachi) marked with a red star.
- おきなわそばの「首里製」には順番待ちの行列が** (Okinawa soba's 'Shuri制' has a queue of people waiting) marked with a blue star.
- インスタントカップめんの沖縄そばが手に入る。いじゅん (沖縄そば)** (Instant cup ramen where you can get Okinawa soba. Ijyun (Okinawa soba)) marked with a blue star.
- 京王線・代** (Keio Line · Daibetsu) marked with a blue arrow pointing to a station sign.

インスタントカップめんの沖縄そばが手に入る。いじゅん（沖縄物産山門店・商店街直営店）

の大福帳に年月日、ピーナッツの支払額（または受取額）、残高を記入し、相手に名前を書いてもらい、「アミーゴー」と言つて握手すれば取引成立。店のパソコンや携帯を使えばウェブ上で一トビーナッツも使える。

地域通貨「ビーナッツ」の仕組み

ビーナッツは地域通貨だが、通貨に代わる小切手やスタンプなどではなく、取引の記録を残す大福帳とウェブがあるのみ。会員同士の信用と信頼に基づいたシステムといえる。

例えば、会員のレストランで1000円のハンバーグを食べた場合、現金800円と200ビーナッツでの支払いが可能になる（ペーナツツの使用範囲は店の判断）。それそな